



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後6：00

2021年12月号ブリテン 第374号

2021 - 2022年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

会長 小山 憲彦
副会長 菰 渕 光彦
書記 御園生 好子
会計 柴田 弘子
直前会長 立田 佳明
担当主事 大津 桃子

Our Motto 国際標語
国際会長 Kim Sang-chaе
アジア太平洋会長 大野 勉
東日本区理事 大久保 知宏
あずさ部部長 長谷川 あや子
サンライズ会長 小山 憲彦

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「Y'smen with the world」 (韓国)
「100年を越えて変革しよう」 (神戸ポート)
「私たちは次の世代のために何が出来るか」(宇都宮)
「道を拓く～愛と協力によって」(東京八王子)
「辛抱！じっと我慢」

12月第一例会のお知らせ

とき 12月9日(木曜日) 18：00～
ところ 東京YMCA山手センター
かいひ
とうばん (参組) 御園生、飯野、大谷、菅原、中馬、松本

◆プログラム

開会点鐘	会長
ワイズソング・ワイズの信条	一同
会長挨拶	会長
ゲスト・ビジターの紹介	司会者
卓話 『落語の話』	参遊會 正村 満さん
協議・報告・連絡事項	会長・各担当
ハッピーバースデー	会長
メンバー近況報告・伝えたいこと	一同
閉会点鐘	会長

11月以降の予告

12月21日(火) 第二(お散歩)例会 会場未定 時間未定
◇お散歩例会の後、恒例の納会を行います。会場未定。
12月第一例会で相談します。欠席者にはLineで通知。
1月 8日(土) 第一例会 **中止にします**
◇1月第一例会は例年在京ワイズ合同新年会に合流の形で開催していましたが、今年はZoomハイブリッドでの開催ですので、各自自由参加とします。
1月18日(火) 第二(新年)例会 会場未定 17：00～

11月第一例会報告

小山憲彦

11月11(木)18：00よりZoomハイブリッドで第一例会を開催しました。

開会点鐘、小声のワイズソング、会長挨拶に続いてハッピーバースデー。

今月は該当者は多かったですのですが、菅原美紀子さんは入院療養中、立田佳明さん・中村孝誠さんは都合で欠席、江原喜子メネット・菰渕恵美子メネットはそれぞれパートナーにお渡ししました。出席者全員で小声でハッピーバースデーを唱和しました。

その後早速報告・協議に入りました。

○11月の第二例会の23日は祝日のため、山手センターが休館になるので、会場を設定後メンバーに連絡します。

○12月第一例会は山中湖センタークリスマス会が中止なので山手センターで開催。今回は久しぶりに卓話者を招き通常の例会形式で開催したい。第一候補は御園生さんがコンタクトして決める。第二候補も準備する。第二例会で確定させる。いずれにせよ久しぶりの卓話が楽しみだ。

○12月第二例会は21日(火)、お散歩例会後に納会。部長公式訪問となる。散歩候補地、会場等は第二例会で決定する。

○在京新年会はZoomハイブリッドで開催。会長のみ東陽町コミュニティセンターに集合(飲食はなし)、他のメンバーは各自飲み物を用意してZoomで参加。

1月8日(土)13：00～15：00 Zoom入室のURLは12月25日頃までに会長に伝達とのこと。入手次第、皆さまにご案内しますので、奮ってご参加ください。

【次頁へ続く】

12月のハッピーバースデー

5日 大津 桃子 さん
6日 御園生 好子 さん
19日 内迫 裕 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

11月例会出席者

在籍 (内広義会員 2名) 18名
メン 9名
メネット・コメント 0名
ゲスト・ビジター 0名
出席率 56%

●11月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg)

●ニコニコ：0円(累計：5,714円)

●プルタブ：0.0kg(累計：0.0kg)



ニコニコ(発言順)

- 大谷博愛 昨日友人と御徒町で昼飲みし、秋刀魚を買い上野まで歩いた。
- 飯野毅与志 少しずつ周りも落ち着き、リアル例会がたのしみです。
- 江原修一 体重が105kg⇒103kgに減りました。酵素玄米と桑の葉茶を飲んでます。
- 小山憲彦 目の手術をした。経過は前回より良い。
- 小山久恵 三陸、秋田、青森に行って来た。義娘の通院のため、孫の世話をしに通っている。
- 柴田弘子 特別変わらない。殆どパーフェクトです。
- 菰淵光彦 昼夜逆転した生活になっている。
- 御園生好子 山の家に水抜きに行って来た。長野でも普段通りでした。

出席者 YMCA山手センター

小山(憲)会長、飯野、江原、菰淵、御園生、大津主事
Zoom

大谷、小山(久)、柴田

例会終了後は、普段の通り伊丹亭で「本音で語ろう会」。
何時もよりはズ〜ット早目に解散しました。

11月第二例会

小山憲彦

11月23日(火)は、祝日のためYMCA山手センターが休館でした。臨時の会場も定まらず、出席予定者も多く集まらなかったし、山中クリスマスも中止になり、年末年始の行事もなく、決めるべき議題は山中ワークの可否の検討、次期会長人事と組閣位のもので、1月例会に持ち越しということで第二例会は急遽中止と言うことになってしまいました。コロナ禍の中とは言え活動が停滞することが寂しく感じられました。第6波の来襲がけねんされていますが、一日も早く、通常の生活に戻るよう祈りましょう。

会費納入のお願い

早いもので新年度が始まり、あっという間に半年が過ぎぎょうとしています。会費の納入はお早目をお願いします。

○三井住友銀行 恵比寿支店 普通口座：6762355

○口座名 東京サンライズワイズメンズクラブ

2022 在京ワイズ合同新年会

キャビネット

1月8日(土)Zoomハイブリッドにより、東京YMCA東陽町センターで開催されます。緊急事態宣言が解除されたとは言え、第6波が懸念される現状に鑑み、大勢が集まっの新年会は控えて、会場には各クラブ会長のみが出席し、他のメンバーは各自好みの飲み物を準備してZoomでの参加となります。メンバーの皆さまには奮ってご参加くださるようお願い致します。一日も早いコロナの終息を願い、一堂に会しての新年会が開けることを皆で祈りましょう。

尚、怪我の功名と言うか、ブリテンの発行が遅れた結果、皆さまには在京新年会の入室URLを早目にお伝えすることができました。

▼1月8日(土)新年会用URL(12:40から入室可能です。)

<https://us02web.zoom.us/j/88490482174>

ミーティングID: 884 9048 2174

なお、URLに不明の点がありましたら、むかでクラブ担当主事の山梨までご照会願います。

Tel: 03-3615-5577 yamanashi@tokyoymca.org

▼当日のプログラム

開会点鐘

挨拶

特別講演「思い出のランドセルギフト」にご協力を!

— タリバンの心を動かした人 —

NGOジョイセフ 甲斐 和歌子氏 (30分)

各クラブのアピール

東京YMCA連絡等

閉会点鐘

強調月間：ASF

地域奉仕委員会

ASF (Alexandre Scholarship Fund)

ワイズメンズクラブ創始者P.W.アレキサンダーを記念して設置された国際協会の基金。東日本区ではCS資金と合わせて「CS・Yサ・ASF資金」として運営し、地域社会奉仕事業、YMCAサービス事業、およびYMCAが行う主事研修に用いている。毎年区内で集められたCS献金、ASF献金の10%が国際協会にASF献金として送金されている。献金目標は一人当たり500円。

山中湖センターだより

山中湖センター副所長 本多良章さん

皆様こんにちは、山中湖センターの本多です。12月に入り、山中湖は氷点下になる日が続き、土の部分の部分を歩くとザクザクと霜柱の音を楽しむことができます。11月で今年のお客様の利用は終了しました。これからは広い山中湖センターを大掃除です。机やベッドを動かし、ニス塗り替えなどスタッフ一同、日々頑張っております。寒さが一層厳しくなりますが、皆様どうぞご自愛いただき、よいお年をお迎えください。

74歳事始め？

大谷博愛

我が町新座市の8月広報に「認知症予防のためのゴルフ教室8回受講者募集」という記事がありました。74歳一人暮らしの私は「認知症予防」という言葉に反応しました。運動好きの私ですが、ゴルフは今まで一度も経験がなくクラブに触れたことすらありません。しかも、年齢を考えると躊躇せざるを得ませんでした。でも、会場は近いし、体を動かすチャンスになると思うと後ろ髪が引かれます。そこで、いい年して何を今さらと思われるかもしれませんが、認知症云々という理由付けを前面に押し出して恥かしながら問い合わせることにしました。そして、貸しクラブもあって初心者大歓迎という言葉にほだされて、大胆にも申し込んでしまいました。

10、11月金曜日、90分計8回で受講料8000円ですから、格安なんでしょうね。そこそこ経験しているのに格安を理由に来ていた人が数人いました。各回10分程度のレクチャーがあってあとは各自が勝手に打つだけですから、そういう人たちにとっては初心者と一緒に話を聞く10分を我慢すればいいだけのことであります。

初めてとは言え、子供の頃から勉強はダメでも運動だけは得意だったので、心の中では密かにあんなものすぐにできるだろうと高を括っていました。打ちにくい相手のボールを打つわけじゃなく、止まっている球を打つだけのことだからすぐできるはずでした。一振り目、クラブは空を切りました。二振り目、地面を叩いて球に当たりはしても球は勢いなくちよろっと転がるだけでした。三振り目でやっと当たってゴルフらしい飛び方をしました。これでもう大丈夫と思いきや、全然そんなことはありません。同じ振り方をしても、うまく飛んだり、転がったり、偶に空振りしたり、それなりに難しいことを実感しました。隣でやっている経験者を見ると、軽く振ってもしっかり飛んでいます。ここでゴルフとゴルフ愛好者にゴメンナサイという気になりました。止まっている球を打つだけのことと言っても、そんなに甘いもんじゃありませんということがよく分かりました。

スイングを安定させるためには慣れるしかないと思ってどんどん打ち、350打くらい打ちました。この打数を見た指導員から少々打ち過ぎであることを指摘されました。そして、時折休憩も入れて、1打ずつ考えながら打つように指導されました。11月末でこのスクールは終了しましたが、体を動かして認知症を予防するためにさらに続けるべきかどうかは迷っています。認知症予防を意識している人は皆さんどんなことをやっているんでしょうかね。

編集後記

年年歳歳尊敬するワイズ、親しかったワイズを天に送っています。先日もサンライズブリテンの一番の愛読者を見送りました。お会いするたび、またメールや電話で適切な暖かい講評を頂きました。残念で言葉も有りません。叩頭、合掌。

一日も早いコロナの終息と、ワイズ活動の復活、お会いできることを心より祈って止みません。

(Non.O)

2021年11月1日発行

東日本区理事 大久保知宏

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

YMCA News

山手センター 大津桃子さん

☆冬プログラムは予定通り実施します☆

コロナウイルスの新しい変異株も出現していますが、年末には、東山荘や高尾の森わくわくビレッジでの宿泊キャンプや短期水泳教室、プールスクールなど、予定通りの実施に向けて準備を開始しています。

12月中旬には、年明け以降に予定しているスキーキャンプに備えて、志賀でボランティアリーダーのスキー実技トレーニングも行います。

感染予防対策を強化しつつ、withコロナの中でYMCAらしいプログラムが行えるように、方法と環境を積極的に整えていきます。

・山手センター1階にクリスマスツリーを飾りました・
クリスマスに向けて「国際協力募金」「フレンドシップファンド募金」を集めます。山手センター1階に大きなクリスマスツリーを設置しており、募金者のみなさまに、リボンのオーナメントを飾っていただき、デコレーションをしていきます。

例会ご参加時などにご協力いただけると幸いです。

・11月13日(土)会員部主催の「ソシアス2021」(会員協議会)・

東陽町センター及びオンラインで開催され、会員、職員合わせて50名が参加しました。

「YMCAの会員活動の活性化に向けて」をテーマに、上田晶平氏(会員部運営委員長)と中里敦氏(会員部統括)の発題を受けて、7グループに分かれて意見交換を行いました。

・Amazonみんなでサンタクロースプログラム・

全国23のYMCAは、「Amazonみんなでサンタクロースプログラム」(Amazonの企画による「ほしいものリスト」を活用したクリスマスチャリティーキャンペーン)に参画しています。東京YMCAは、子ども食堂「下町こどもダイニング」や、日本語支援「にじいろサポート広場」に通う子どもたちへのクリスマスプレゼント(お菓子や文具)のご支援を、キャンペーンサイト上でアピールしています。

・今後の主な行事日程・

・1月29日(土)「第16回子育て講演会」(オンライン配信)
講師：汐見稔幸氏(東京大学名誉教授、白梅学園大学名誉学長、日本保育学会理事) テーマ：「ポストコロナ・これからの時代に向けて！子育てで大切にしたいこと」

・1月31日(月)締切 第23回愛恵エッセイ募集「豊かな福祉社会を創るために」 テーマ：「パンデミック(感染症)と私たち」(愛恵福祉支援財団と共催)